

平成 30 年度

自平成 30 年 4 月 1 日

至平成 31 年 3 月 31 日

事業報告書

学校法人鈴鹿医療科学大学

目 次

I	事業報告	頁
	一．法人の概要	1
	1．法人名と所在地	
	2．学校法人の沿革	
	3．建学の精神と教育の理念	
	4．設置する学校・学部・学科・研究科及び附属機関	
	5．設置する学部・学科等の入学定員、現員数	
	6．役員・教職員数	
	7．組織図	
	二．事業の概要 ～ 事業計画の達成報告	6
	三．財務の概要	12
	主要な財務数値の推移、他	
II	計算書類（平成30年度）と概要	17
	1．資金収支計算書・活動区分資金収支計算書	
	2．事業活動収支計算書	
	3．貸借対照表・財産目録	
III	監査報告書	22

I. 事業報告

一. 法人の概要（平成 31 年 3 月 31 日現在）

1. 法人名と所在地

法人の名称：学校法人鈴鹿医療科学大学

所在地：三重県鈴鹿市岸岡町 1001 番地 1

2. 学校法人の沿革

平成 3 年 4 月	「鈴鹿医療科学技術大学」を開学（保健衛生学部：放射線技術科学科・医療栄養学科、医用工学部：医用電子工学科・医用情報工学科開設）
平成 8 年 4 月	大学院「医療画像情報学研究科・医療画像情報学専攻（修士課程）」を開設
平成 9 年 4 月	保健衛生学部放射線技術科学科の入学定員を 80 名から 100 名に増員
平成 10 年 4 月	大学名称を「鈴鹿医療科学大学」に変更
平成 11 年 4 月	大学院研究科の名称を「保健衛生学研究科」に変更し、「医療画像情報学専攻（博士後期課程）」および「医療栄養学専攻（修士課程）」を開設
平成 11 年 7 月	東洋医学研究所を設立
平成 12 年 4 月	保健衛生学部医療栄養学科が「管理栄養士養成施設」に指定
平成 14 年 4 月	保健衛生学部「理学療法学科」を開設 医用工学部医用電子工学科を「臨床工学科」に名称変更
平成 16 年 4 月	保健衛生学部「医療福祉学科」を開設 「鍼灸学部鍼灸学科」を開設
平成 20 年 4 月	白子キャンパスに「薬学部薬学科」を開設 医療福祉学科に「保育士養成課程」を設置
平成 21 年 4 月	大学院に東京サテライトキャンパスを設置
平成 22 年 4 月	大学院研究科に「医療科学研究科・医療科学専攻」を設置し、「保健衛生学研究科」は募集停止
平成 23 年 4 月	保健衛生学部医療栄養学科の入学定員を 40 名から 80 名に増員し、「管理栄養コース（管理栄養士養成課程）」および「臨床検査コース（臨床検査技師養成課程）」を設置
平成 25 年 4 月	保健衛生学部「鍼灸学科」を開設し、「鍼灸学部鍼灸学科」は募集停止 保健衛生学部医療福祉学科に「医療福祉コース」および「臨床心理コース」を設置し、「保育士養成課程」は募集停止
平成 26 年 4 月	白子キャンパスに「看護学部看護学科」および大学院研究科「薬学研究科・医療薬学専攻」を開設
平成 28 年 9 月	大学院に名古屋サテライトキャンパスを設置
平成 29 年 4 月	千代崎キャンパスに「鈴鹿医療科学大学附属こころの相談センター」および「鈴鹿医療科学大学附属こころのクリニック」を開設
平成 30 年 4 月	保健衛生学部医療栄養学科「管理栄養コース」、「臨床検査コース」を保健衛生学部医療栄養学科「管理栄養学専攻」、「臨床検査学専攻」に名称変更 保健衛生学部医療福祉学科「医療福祉コース」、「臨床心理コース」を保健衛生学部医療福祉学科「医療福祉学専攻」に臨床心理コースを「臨床心理学専攻」に名称変更 保健衛生学部鍼灸学科を保健衛生学部「鍼灸サイエンス学科」に名称変更 保健衛生学部医療栄養学科臨床検査学専攻の入学定員を 40 名から 50 名に増員

3. 建学の精神と教育の理念

- ＜建学の精神＞ 科学技術の進歩を真に人類の福祉と健康の向上に役立たせる
- ＜教育の理念＞ 知性と人間性を兼ね備えた医療・福祉スペシャリストの育成
- ＜教育目標＞
- ① 高度な知識と技能を修得する
 - ② 幅広い教養を身につける
 - ③ 思いやりの心を育む
 - ④ 高い倫理観を持つ
 - ⑤ チーム医療に貢献する

4. 設置する学校・学部・学科・研究科及び附属機関

学 部	学 科	備 考
保 健 衛 生 学 部	放 射 線 技 術 科 学 科	
	医 療 栄 養 学 科	管理栄養学専攻 臨床検査学専攻
	理 学 療 法 学 科	
	医 療 福 祉 学 科	医療福祉学専攻 臨床心理学専攻
	鍼 灸 サ イ エ ン ス 学 科	
医 用 工 学 部	臨 床 工 学 科	
	医 用 情 報 工 学 科	
薬 学 部	薬 学 科	
看 護 学 部	看 護 学 科	

大 学 院	専 攻 名	備 考
医 療 科 学 研 究 科	医 療 科 学 専 攻	
薬 学 研 究 科	医 療 薬 学 専 攻	

附 属 機 関	機 関 名	備 考
	図 書 館	
	健 康 管 理 セ ン タ ー	
	I R 推 進 室	
	底 力 教 育 推 進 セ ン タ ー	
	東 洋 医 学 研 究 所	
	社 会 連 携 研 究 セ ン タ ー	
	I C T 教 育 セ ン タ ー	
	鍼 灸 治 療 セ ン タ ー	

	こころの相談センター	
	こころのクリニック	
	学 生 相 談 室	
	学生ボランティアセンター	

5. 設置する学部・学科等の入学定員、現員数

平成 30 年 5 月 1 日現在 (単位: 人)

学部	学科	入学定員数	収容定員数	現員数	備考
保健衛生学部	放射線技術科学科	100	403	511	
	医療栄養学科				
	管理栄養学専攻	40	163	163	
	臨床検査学専攻	50	170	197	
	理学療法学科	40	160	187	
	医療福祉学科				
	医療福祉学専攻	30	123	83	
	臨床心理学専攻	30	120	112	
	鍼灸サイエンス学科	30	122	96	
医用工学部	臨床工学科	40	165	197	
	医用情報工学科	30	122	120	
薬学部	薬学科	100	600	639	
看護学部	看護学科	80	320	363	
計		570	2,468	2,668	

大学院	専攻	課程	入学定員	収容定員	現員数	備考
医療科学研究科	医療科学専攻	博士	5	15	13	
		修士	30	60	35	
薬学研究科	医療薬学専攻	博士	2	8	9	
計			37	83	57	

6. 役員・教職員数

① 役員・評議員に関する事項

平成 30 年 5 月 1 日 (単位: 人)

職 名	区 分	人 数
理 事	1 号理事	1
	2 号理事	2
	3 号理事	7
計		10

職 名	人 数
監 事	2

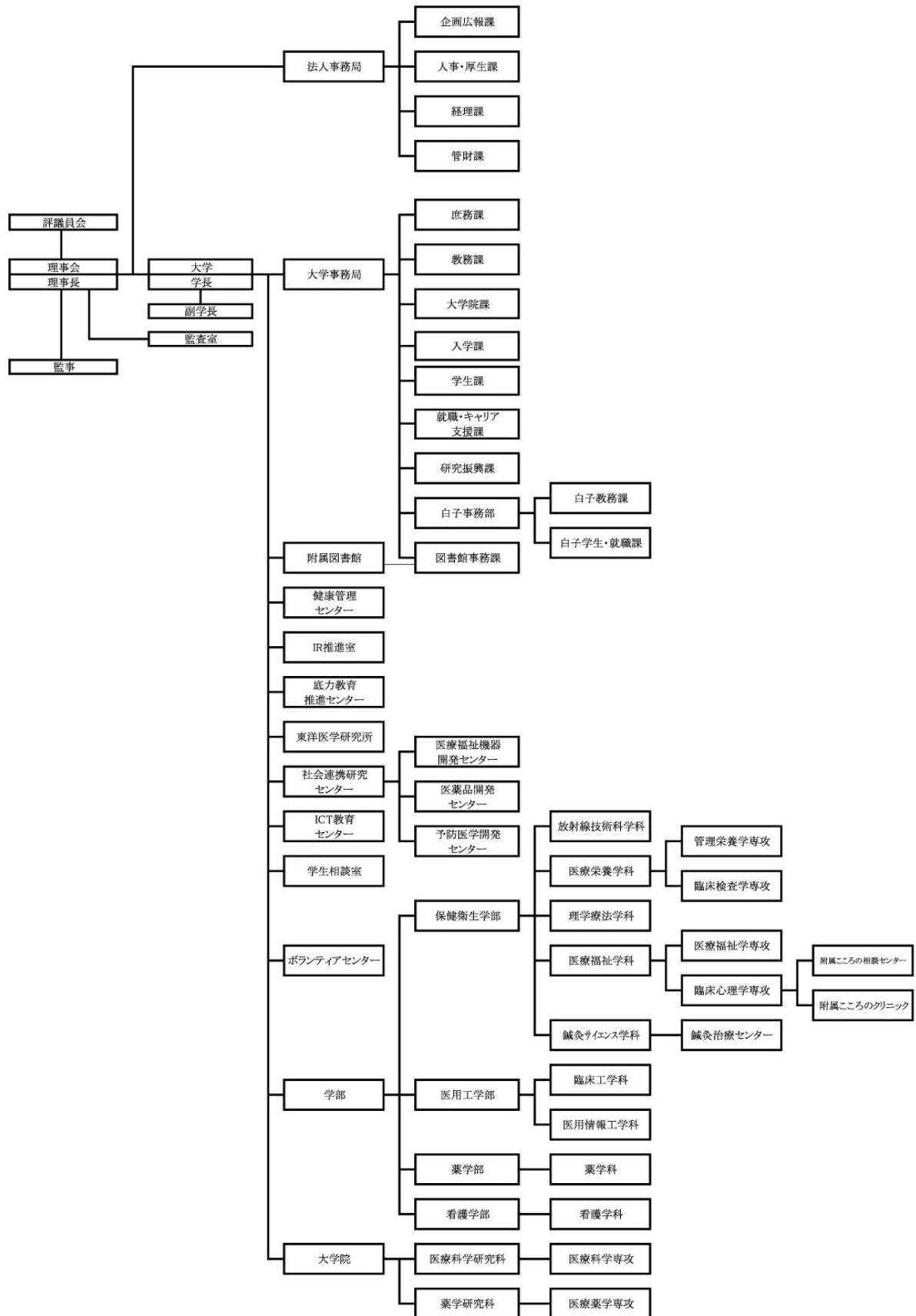
職 名	区 分	人 数
評 議 員	法人職員	8
	卒業者	4
	学識経験者	14
計		26

② 教職員に関する事項

平成 30 年 5 月 1 日（単位：人）

区分	学部	専任	非常勤	合計
教 員	保健衛生学部	85	40	125
	医用工学部	24	16	40
	薬学部	49	7	56
	看護学部	35	8	43
	東洋医学研究所	2	0	2
	教員 計	195	71	266
職 員		58	3	61

7. 組織図（平成 31 年 3 月 31 日）



二．事業の概要 ～ 事業計画の達成報告

① 大学等拡充計画の推進

(A) 大学に関する事業

本学は、平成 31 年 4 月保健衛生学部理学療法学科を改組し、新たにリハビリテーション学科を開設し、理学療法学専攻(入学定員 40 名)と新設の作業療法学専攻(入学定員 40 名)の 2 専攻を設置しました。超高齢社会となり、理学療法士・作業療法士を増やすことは、多くの医療機関において喫緊の課題となっています。患者数に対して十分な治療を提供できていないリハビリテーション分野で、地域包括ケアの一翼を担える人材を養成し、こうしたニーズに量・質ともに応えるためリハビリテーション学科を 2 専攻体制としました。保健衛生学部の教育研究目的に基づき、リハビリテーション諸科学、医学等に精通し、社会人、職業人、国際人として生涯にわたって自己研鑽できる理学療法士および作業療法士を養成することを目的とします。作業療法学専攻は、県内の大学では初めての設置となります。

また、保健衛生学部鍼灸サイエンス学科に「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」と「鍼灸学専攻」の 2 つの専攻を開設しました。新設の「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」では、1 年次から 3 年次の授業でスポーツに関連する教養と技術を習得することで、日本トレーニング指導者協会（JATI）と全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会（NESTA）の 2 団体のスポーツトレーナーの受験資格が得られます。将来、鍼灸師とスポーツトレーナー資格を合わせ持つことで、スポーツ選手や健康運動実践者への鍼灸治療、リハビリ、さらにはコンディショニング等のきめ細かい指導を行うことができ、科学的に日々進歩しているスポーツや運動分野で貢献できる鍼灸師の育成を目的に開始しました。

【小児リハビリテーション室】



【トレーニングルーム】



(B) 大学院に関する事業

平成 30 年 4 月医療科学研究科医療科学専攻に、臨床心理学分野（修士課程）を開設し、国家資格となった公認心理師を養成するカリキュラムをスタートしました。学部では医療福祉学科臨床心理学専攻で公認心理師養成のカリキュラムを導入し、学部 4 年間と大学院修士課程 2 年間の 6 年間で公認心理師を目指すことができます。

また、平成 31 年 4 月医療科学研究科医療科学専攻に、看護学分野（修士課程）を開設しました。看護学分野では、広い視野に立ち専門分野の学識を深め、科学的な思考力及び実践力、教育、指導力を養い社会に貢献できる高度な看護実践者や臨床教育者を育成します。

② 大学広報の強化

県内や東海地区に止まらない全国展開を視野に入れた効果的な広報の充実化を図るため、受験生の動向分析、広告広報の費用対効果の測定、テレビ・新聞等のマスメディアを利用した県内外への積極的な広告・PR 活動の展開、新設学科・専攻の情報発信の強化、SNS (LINE, Instagram, Facebook) での情報発信と学生募集活動等を行いました。

○受験生の動向分析

「アクセスオンライン」（資料請求者管理システム）と「受験者情報」から平成 29 年度と平成 30 年度高校卒生を抽出し、動向分析を行いました。

○広告広報の費用対効果の測定

【公式 SNS (LINE/Instagram) の開始】

平成 30 年 3 月下旬より受験生向け公式 SNS の運営を開始し、現在の Instagram ユーザー（フォロワー）数 202 名、line 友達数 552 人を獲得することができました。

【大学ホームページ】

以下のサイトを立ち上げ、ホームページの充実化を図りました。

「大学ホームページのリニューアル」、「女子学生寮・学生指定寮のリニューアル」

「資格紹介サイト」、「作業療法学専攻 特設サイト」、

「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻 特設サイト」、「オープンキャンパス 特設サイト」

・ ページビュー数：「2.79%」増加（平成 29 年 753,505 ページ：平成 30 年 774,518 ページ）

・ 直帰率：「-26.16%」減少（平成 29 年 66.75%：平成 30 年 49.29%）

○マスメディアを利用した県内外への積極的な広告・PR 活動の展開について

県内報道機関へ、本学の教育・研究・社会貢献活動に関する情報発信を随時行いました。

新聞広告やメディアへの掲載に於いては、特に新設学科・専攻についての積極的な広報を行いました。

・ プレスリリース投稿：計 20 件（左記のうち、取材件数：計 39 社）

・ メディア掲載状況：計 60 件 ※上記 39 社を含む

（テレビ 15 社／新聞 40 社／雑誌 5 社）

・ 新聞広告／メディア協賛：計 19 件

○新設学科・専攻の情報発信の強化

大学ホームページに新設 2 専攻の特設サイトを開設し、専攻の概要や特長についての周知、および志願者拡大に向け、最新情報を発信し、平成 30 年 10 月には、新聞社対象に「新設学科・専攻 開設説明会」を実施しました。

○SNS（LINE, Instagram, Facebook）での情報発信と学生募集活動等

平成 30 年 3 月下旬から運営を開始した公式 SNS（LINE/Instagram）を利用し、オープンキャンパス、入試情報、学生生活を中心とした積極的な情報発信を行いました。

- ・ LINE : 26 件（メッセージ 16 件、タイムライン 10 件）
- ・ Instagram : 28 件

大学ブランド力アップのため、大学の取り組み・教育・研究の成果を発信するため、産学官連携や関連職能団体との取り組み、市民公開講座、学生生活や、「教育・研究の成果」、「地域貢献活動」などの内容をホームページに分かり易く掲載し、積極的な情報発信を行いました。

② 教育内容の充実

「クラウド型教育サポートシステムの導入」

- ・ 学生一人ひとりのための学修サポート体制を全学で具体化するため「学修サポートシステム」を導入しました。各教科の予習・復習や国家試験対策の反復学習により、自ら学びやすい環境を整え学修指導の充実を図り活用していきます。

「医療人底力教育など本学の特色ある教育の更なる充実」

- ・ 本学の特色ある教育「医療人底力教育」では、平成 26～29 年度までの 4 年間の底力教育の実施により、初年次教育としての底力教育の役割が明確化され、「医療人底力教育」の授業方法・授業内容を他大学にない本学独自の効果的な教育にするために、カリキュラムの見直しを行い、学生に分かりやすく、学習効果を上げるための工夫を図りました。加えて平成 29 年度より始まった三重大学医学部との共同授業「慢性疼痛チーム医療養成プログラム」は、国の中間評価において「A」判定を受け、同じ「慢性の痛みの領域」で事業を行っている 3 大学の中では一番良い評価を受けました。

「社会福祉法人サムス会との協働」

「医療人底力実践（基礎Ⅰ）」（全学科 1 年次必修科目）で行われている体験学習の一環として、平成 30 年度後期、1 年生全員が「桜の森白子ホーム」を訪問し、高齢者とのコミュニケーション方法やマナーなどを学びました。また、2 年生以上においても、学外実習の一領域として実施する学科や、ボランティア活動に参加する学生など多方面で協働しました。

③ 学生支援の強化

平成 29 年度に導入された「SUMS ポイント」への積極的な参加を促し、制度を周知するために関連情報をホームページ、学生要覧等に掲載し、学生全体へのメール配信、ガイダンス等での

告知を行いました。この制度をきっかけに、学内外の活動に積極的に取り組むことで、他者に貢献する活動を通し広く高い社会性を身につける意識の醸成に努めました。

④ 高大連携・地域連携・産学官連携の推進

平成 29 年度に締結した鈴鹿工業高等専門学校との本学の学術研究交流に関する協定に沿って、SUMS-NITS 医工連携研究会の定期的開催、医工連携共同研究の推進を図りました。両高等教育機関のそれぞれの特色を生かした医学・工学の分野における学術研究連携を学術研究の定期的情報交換会（研究会）や共同研究、科研費の申請を実施しました。

また、一般社団法人三重県薬剤師会と本学との間で締結した包括協定に基づき、地域医療への貢献並びに薬学生の育成と薬剤師のスキルアップ教育等について連携して活動を推進していくため、平成 30 年 10 月に薬局薬剤師等在宅医療研修施設（シミュレーション・ラボ）を白子キャンパス 1 号館に開設しました。シミュレーション・ラボには県薬剤師会が購入したフィジコなどのシミュレーター機器、聴診器などのバイタルサイン用の機器類、医療材料・医療機器類等、臨床検査機器などを設置し、協同して県内薬局・病院薬剤師が在宅医療などで必要とする技術を修得するための研修会を開催しました。

モバイルファーマシーについては、薬学生の事前実習（4 年次生後期必修科目）において紹介し、大規模災害が発生した時に求められる薬剤師の役割について考える体験型演習を行いました。

その他大学の研究を身近な存在として活用していただけるように 18 の公的機関・企業、支援団体・金融機関に全学シーズ集を配布しました。

○ 平成30年度の受託・共同研究の入金額は、24,015千円。（平成29年度22,547千円）

○ 平成30年度に交付を受けた文部科学省科学研究費補助金（間接経費を含む）は、68件81,640千円（平成29年度57件62,478千円）

特に本年は、学内で構築してきた超高齢化社会における健康寿命延伸に向けた革新的な取り組みである研究内容を文部科学省科学研究費助成事業 挑戦的研究（開拓）に応募し、応募件数 894 件、採択率 9.8%の超難関の中、国立の研究所・大学と並び私立大学では唯一、本学の研究課題が選定され、研究を開始しました。

【シミュレーションラボ】



【モバイルファーマシー】



⑤ 国際交流の推進

天津中医薬大学(中国天津市)、中国医薬大学(台湾台中市)と鍼灸サイエンス学科、コンケン大学(タイ)と薬学研究科との交流

天津中医薬大学(中国)と鍼灸サイエンス学科は定期的な交流が確立されています。

平成30年12月1～2日に第5回日本薬膳学会学術総会を開催し、中国全土から30名が参加しました。大学施設、特に看護学科や医療栄養学科、また、桜の森白子ホームやロボットスーツ HAL を見学していただきました。最終日は日本体験デーとし、和服・お茶・お花・和食の体験を通じて日本文化を紹介し、交流を図りました。

- ・鍼灸サイエンス学科では、平成31年3月17日～21日に学生15名、教員2名が中国研修に参加しました。訪問先の天津中医薬大学において、臨床実習、講義、薬膳研修等を実施しました。

⑥ 財務基盤の充実

平成30年11月、他大学の学納金の状況を調査し比較検討することで、学納金の見直しを図り、学納金の改正(令和2年度入学生からの適用)を決議しました。

また、教育分野での補助金(私立大学等改革総合支援事業;タイプ1教育の質的転換)の増額や研究分野での補助金の新規獲得などにより、補助金収入の増加を目指しました。私立大学等改革総合支援事業;タイプ1教育の質的転換についての補助金は、調査方法が見直され厳しい条件となり、当初は84点中51点(60.7%)でしたが、教員へのシラバス修正依頼、GPA制度見直し、FD推進委員会等への学生代表出席、TAに対する研修会開催、ティーチング・ポートフォリオ作成などを全学挙げての協力のもと、76点(90.5%)まで引き上げた結果、採択されました。

⑦ 施設設備の改修

- ・作業療法学専攻の設置に伴う改修工事として、A講義棟の一部を改修し実習室2室、JART記念館の一部を改修し実習室2室、ゼミ室8室、教員研究室8室を整備しました。
- ・鍼灸サイエンス学科鍼灸・スポーツトレーナー学専攻の設置に伴う改修工事として、体育館に本専攻専用のトレーニングルーム・更衣室等を整備しました。
- ・大学院医療科学研究科看護学分野の修士課程開設に伴う改修工事として、白子キャンパス4号館3階に講義室1室、実験室1室、演習室1室、院生室2室を整備しました。

<両キャンパス設備更新 他>

- ・千代崎キャンパス実験実習棟2・3階、A講義棟空調設備更改を完了しました。
- ・千代崎キャンパス受電設備更新工事4か年計画(2年目)を実施しました。
- ・白子キャンパス講堂屋上防水改修工事(2年目)を実施しました。

⑧ その他

薬学部（6年制薬学教育プログラム）は、平成30年度、一般社団法人薬学教育評価機構による薬学教育評価を受けました。そのため薬学科自己点検・評価委員会と協働し、自己点検評価書、機構の定める調書および基礎資料を整え、本評価受審に伴う手続き、申請書類提出、および訪問調査の準備・対応を行いました。

本評価の結果、『薬学教育評価機構が定める「薬学教育評価 評価基準」に適合している』との認定を受けました。その結果は、本学のステークホルダーを初め社会に広く公表することを目的に、大学のホームページに公表しました。

なお、本評価の認定期間は、令和元年4月1日から令和8年3月31日までの7年間。

三. 財務の概要

① 主要な財務数値の推移

(A) 資金収支の推移

・資金収支計算書

(単位：千円)

科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学生生徒等納付金収入	3,831,885	3,905,005	3,893,115	4,020,295	4,028,300
手数料収入	89,781	82,905	79,819	74,943	79,927
寄付金収入	46,700	35,682	25,761	27,072	32,426
補助金収入	497,776	417,477	449,721	415,889	473,730
資産売却収入	924,609	237,268	371,494	439,128	191,854
付随事業・収益事業収入	55,648	38,594	35,092	47,793	57,264
受取利息・配当金収入	136,854	88,434	60,316	87,991	82,284
雑収入	138,317	140,553	113,178	136,052	145,240
借入金等収入	800,000	0	0	0	0
前受金収入	691,923	650,324	707,956	717,226	786,245
その他の収入	321,024	57,691	120,187	50,467	81,529
資金収入調整勘定	△ 801,069	△ 787,760	△ 689,273	△ 768,244	△ 769,887
前年度繰越支払資金	3,214,065	3,055,060	3,300,073	3,579,846	3,724,327
収 入 の 部 合 計	9,947,513	7,921,233	8,467,439	8,828,458	8,913,239

科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費支出	2,354,708	2,447,697	2,502,532	2,596,586	2,582,154
教育研究経費支出	916,401	862,734	837,262	901,158	1,010,400
管理経費支出	932,496	293,444	342,672	318,476	302,836
借入金等利息支出	49,585	45,503	40,837	36,489	32,527
借入金等返済支出	299,780	319,780	303,120	264,240	247,580
施設関係支出	1,385,082	266,196	204,919	179,149	498,310
設備関係支出	98,736	190,834	77,074	88,783	203,840
資産運用支出	633,261	204,661	562,357	768,966	193,834
その他の支出	342,394	155,402	180,055	158,065	208,559
資金支出調整勘定	△ 119,990	△ 165,091	△ 163,235	△ 207,781	△ 633,235
翌年度繰越支払資金	3,055,060	3,300,073	3,579,846	3,724,327	4,266,434
支 出 の 部 合 計	9,947,513	7,921,233	8,467,439	8,828,458	8,913,239

・活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

	科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	4,638,695	4,567,074	4,591,719	4,722,044	4,807,835
	教育活動資金支出計	4,203,605	3,603,874	3,682,466	3,816,220	3,895,390
	差引	435,090	963,200	909,253	905,824	912,445
	調整勘定等	△ 137,501	4,092	43,964	10,573	145,469
	教育活動資金収支差額	297,589	967,292	953,217	916,397	1,057,914
施設整備等活動による資金収支	科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	施設整備等活動資金収入計	56,412	55,028	4,968	24	10,492
	施設整備等活動資金支出計	1,483,818	457,030	281,994	267,933	702,150
	差引	△ 1,427,406	△ 402,002	△ 277,026	△ 267,909	△ 691,658
	調整勘定等	103,204	△ 49,990	42,637	22,365	355,846
	施設整備等活動資金収支差額	△ 1,324,202	△ 451,993	△ 234,389	△ 245,544	△ 335,812
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）		△ 1,026,613	515,299	718,828	670,853	722,102
その他の活動による資金収支	科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	その他の活動資金収入計	1,861,463	330,143	441,595	538,608	293,938
	その他の活動資金支出計	996,371	569,943	906,414	1,069,695	473,940
	差引	865,092	△ 239,800	△ 464,819	△ 531,087	△ 180,002
	調整勘定等	2,516	△ 30,486	25,764	4,715	7
	その他の活動資金収支差額	867,608	△ 270,286	△ 439,055	△ 526,372	△ 179,995
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）		△ 159,005	245,013	279,773	144,481	542,107
前年度繰越支払資金		3,214,065	3,055,060	3,300,073	3,579,846	3,724,327
翌年度繰越支払資金		3,055,060	3,300,073	3,579,846	3,724,327	4,266,434

(B) 事業活動収支の推移

・事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動	収入の活動	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		学生生徒等納付金	3,831,885	3,905,005	3,893,115	4,020,295	4,028,300
		手数料	89,781	82,905	79,819	74,943	79,927
		寄付金	46,700	35,682	25,761	27,072	32,426
		経常費等補助金	476,363	364,335	444,753	415,889	464,678
		付随事業収入	55,648	38,594	35,092	47,793	57,264
		雑収入	138,317	140,553	113,178	136,052	145,240
		教育活動収入計	4,638,694	4,567,074	4,591,718	4,722,044	4,807,835
収支	支出の活動	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		人件費	2,389,938	2,482,648	2,548,238	2,641,645	2,645,912
		教育研究経費	1,555,401	1,497,090	1,478,208	1,536,171	1,645,252
		管理経費	1,206,819	362,934	414,186	385,335	370,123
		徴収不能額等	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	5,152,158	4,342,672	4,440,632	4,563,151	4,661,287
		教育活動収支差額	△ 513,464	224,402	151,086	158,893	146,548
教育活動外収支	収入の活動	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		受取利息・配当金	136,854	88,434	60,316	87,991	82,284
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	136,854	88,434	60,316	87,991	82,284
	支出の活動	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		借入金等利息	49,585	45,503	40,837	36,489	32,527
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	49,585	45,503	40,837	36,489	32,527
		教育活動外収支差額	87,269	42,931	19,479	51,502	49,757
		経常収支差額	△ 426,195	267,333	170,565	210,395	196,305
特別収支	収入の活動	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		資産売却差額	207,934	7,215	22,341	25	1,706
		その他の特別収入	34,583	59,477	9,025	6,106	19,726
		特別収入計	242,517	66,692	31,366	6,131	21,432
	支出の活動	科目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		資産処分差額	38,819	110,370	4,289	13,789	87,078
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	38,819	110,370	4,289	13,789	87,078
		特別収支差額	203,698	△ 43,678	27,077	△ 7,658	△ 65,646
		基本金組入前当年度収支差額	△ 222,497	223,655	197,642	202,737	130,659
		基本金組入額合計	△ 706,854	△ 730,218	△ 342,363	△ 313,963	△ 437,886
		当年度収支差額	△ 929,351	△ 506,563	△ 144,721	△ 111,226	△ 307,227
		前年度繰越収支差額	△ 3,947,317	△ 4,876,668	△ 5,383,231	△ 5,460,952	△ 5,572,178
		基本金取崩額	0	0	67,000	0	0
		翌年度繰越収支差額	△ 4,876,668	△ 5,383,231	△ 5,460,952	△ 5,572,178	△ 5,879,405
(参考)							
		事業活動収入計	5,018,065	4,722,200	4,683,400	4,816,166	4,911,551
		事業活動支出計	5,240,562	4,498,545	4,485,758	4,613,429	4,780,892

(C) 財産状況の推移

・貸借対照表

(単位：千円)

科目	平成26年度 平成27年3月31日現在	平成27年度 平成28年3月31日現在	平成28年度 平成29年3月31日現在	平成29年度 平成30年3月31日現在	平成30年度 平成31年3月31日現在
固定資産	17,612,746	17,371,414	16,942,293	16,513,908	16,524,594
有形固定資産	17,289,397	17,053,958	16,623,823	16,186,291	16,203,265
特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
その他の固定資産	23,349	17,456	18,470	27,617	21,329
流動資産	4,437,511	4,616,776	5,006,208	5,496,811	5,942,433
資産の部合計	22,050,257	21,988,190	21,948,501	22,010,719	22,467,027
固定負債	4,063,665	3,780,718	3,547,406	3,337,496	3,153,673
流動負債	1,234,839	1,232,063	1,228,044	1,297,436	1,806,907
負債の部合計	5,298,504	5,012,781	4,775,450	4,634,932	4,960,580
基本金	21,628,421	22,358,640	22,634,003	22,947,965	23,385,852
繰越収支差額	△ 4,876,668	△ 5,383,231	△ 5,460,952	△ 5,572,178	△ 5,879,405
純資産の部合計	16,751,753	16,975,409	17,173,051	17,375,787	17,506,447
負債及び純資産の部合計	22,050,257	21,988,190	21,948,501	22,010,719	22,467,027

② 借入金状況

(単位：円)

金融機関名	長期借入金	返済期限が1年以内の長期借入金	短期借入金
日本私立学校振興・共済事業団	0	5,940,000	0
市中銀行	2,589,920,000	241,640,000	0
計	2,589,920,000	247,580,000	0

③ 学校債の状況

学校債は発行していません。

④ 資金調達の状況

平成30年度は、金融機関からの資金の借入等はありません。

⑤ 外部資金の獲得実績

(i) 公募、審査、採択の過程を経て獲得する競争的研究資金等

・科学研究費助成事業・・・71件 89,521千円（研究代表者及び研究分担者）

(ii) 受託事業や共同研究に伴う研究費等

・受託事業・・・国及び地方公共団体より4件 4,946千円、企業等より8件 6,190千円

・共同研究・・・企業等より7件 11,994千円

(iii) 民間企業等や同窓会等、個人より得た寄付金等

＜一般寄付金＞

- ・ 鈴鹿医療科学大学 教育支援の会より 6,056 千円
- ・ 企業等より 21 件 26,370 千円

⑥ 現物寄付の状況（資産別）

- ・ 構築物・・・ 427 千円
- ・ 教育研究用機器備品・・・ 9,888 千円
- ・ 図書・・・ 360 千円

⑥ 決算後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

特記事項なし

（注）特別の記載なき場合、平成 31 年 3 月 31 日現在の状況です。

Ⅱ．計算書類（平成 30 年度）と概要

1．資金収支計算書・活動区分資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、会計年度中に行われた資金の動きを表したもので、活動区分資金収支計算書は、その資金の動きを活動区分ごとに集計したものです。

当年度は、平成 31 年 4 月に開設する保健衛生学部リハビリテーション学科の実習室やゼミ室等の改修工事や保健衛生学部鍼灸サイエンス学科鍼灸・スポーツトレーナー学専攻で使用するトレーニングルームの改修工事などを実施しているため、施設関係支出・設備関係支出が増加しています。

資 金 収 支 計 算 書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	4,029,600,000	4,028,300,000	1,300,000
手数料収入	78,000,000	79,926,828	△ 1,926,828
寄付金収入	32,200,000	32,426,136	△ 226,136
補助金収入	473,550,000	473,729,924	△ 179,924
国庫補助金収入	473,400,000	473,519,000	△ 119,000
地方公共団体補助金収入	150,000	210,924	△ 60,924
資産売却収入	191,850,000	191,854,038	△ 4,038
付随事業・収益事業収入	54,300,000	57,263,762	△ 2,963,762
受取利息・配当金収入	84,100,000	82,283,740	1,816,260
雑収入	144,300,000	145,239,949	△ 939,949
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	615,290,000	786,245,160	△ 170,955,160
その他の収入	60,288,042	81,528,519	△ 21,240,477
資金収入調整勘定	△ 757,226,000	△ 769,886,600	12,660,600
前年度繰越支払資金	3,724,327,256	3,724,327,256	
収入の部合計	9,204,129,298	9,386,968,636	△ 182,839,338

支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,589,030,000	2,582,154,196	6,875,804
教育研究経費支出	1,035,748,286	1,010,400,183	25,348,103
管理経費支出	313,829,543	302,835,596	10,993,947
借入金等利息支出	33,057,000	32,526,997	530,003
借入金等返済支出	247,580,000	247,580,000	0
施設関係支出	505,000,000	498,309,722	6,690,278
設備関係支出	210,600,000	203,840,374	6,759,626
資産運用支出	194,000,000	193,833,577	166,423
その他の支出	218,180,629	208,559,198	9,621,431
予備費	(2,097,829)		
	47,902,171		47,902,171
資金支出調整勘定	△ 218,578,401	△ 633,234,986	414,656,585
翌年度繰越支払資金	3,554,230,070	4,266,433,855	△ 712,203,785
支出の部合計	8,730,579,298	8,913,238,712	△ 182,659,414

活動区分資金収支計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

教育活動による資金収支	科 目		金額
	収入	学生生徒等納付金収入	4,028,300,000
		手数料収入	79,926,828
		一般寄付金収入	32,426,136
		経常費等補助金収入	464,677,924
		付随事業収入	57,263,762
		雑収入	145,239,949
		教育活動資金収入計	4,807,834,599
	支出	人件費支出	2,582,154,196
		教育研究経費支出	1,010,400,183
		管理経費支出	302,835,596
		教育活動資金支出計	3,895,389,975
差引		912,444,624	
調整勘定等		145,468,630	
教育活動資金収支差額		1,057,913,254	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備補助金収入	9,052,000
		施設設備売却収入	1,440,000
		施設整備等活動資金収入計	10,492,000
	支出	施設関係支出	498,309,722
		設備関係支出	203,840,374
		施設整備等活動資金支出計	702,150,096
	差引		△ 691,658,096
	調整勘定等		355,846,379
	施設整備等活動資金収支差額		△ 335,811,717
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）		722,101,537	
その他の活動による資金収支	科 目		金額
	収入	有価証券売却収入	190,414,038
		預り金受入収入	21,240,477
		小計	211,654,515
		受取利息・配当金収入	82,283,740
		その他の活動資金収入計	293,938,255
	支出	借入金等返済支出	247,580,000
		有価証券購入支出	193,833,577
		小計	441,413,577
		借入金等利息支出	32,526,997
		その他の活動資金支出計	473,940,574
	差引		△ 180,002,319
	調整勘定等		7,381
その他の活動資金収支差額		△ 179,994,938	
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）		542,106,599	
前年度繰越支払資金		3,724,327,256	
翌年度繰越支払資金		4,266,433,855	

2. 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、会計年度中の収支を表すものです。

平成 31 年 4 月開設の新学科・新専攻に関する経費（改修工事に係る既存施設の撤去費用や消耗品など）が発生しており、支出が増加しています。しかしながら、私立大学等経常費補助金や私立大学等研究設備整備費等補助金などの補助金収入も増加しており、当年度の収支の状況は 1.3 億円の収入超過となりました。

事業活動収支計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

教育活動収支	事業活動 収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	4,029,600,000	4,028,300,000	1,300,000
		手数料	78,000,000	79,926,828	△ 1,926,828
		寄付金	32,200,000	32,426,136	△ 226,136
		経常費等補助金	473,550,000	464,677,924	8,872,076
		国庫補助金	473,400,000	464,467,000	8,933,000
		地方公共団体補助金	150,000	210,924	△ 60,924
		付随事業収入	54,300,000	57,263,762	△ 2,963,762
		雑収入	144,300,000	145,239,949	△ 939,949
		教育活動収入計	5,285,500,000	5,272,512,523	12,987,477
事業活動 支出の部	科目	予算	決算	差異	
	人件費	2,652,255,784	2,645,911,780	6,344,004	
	教育研究経費	1,670,748,286	1,645,251,495	25,496,791	
	管理経費	381,129,543	370,123,461	11,006,082	
	徴収不能額等	0	0	0	
	教育活動支出計	4,704,133,613	4,661,286,736	42,846,877	
	教育活動収支差額	581,366,387	611,225,787	△ 29,859,400	
教育活動外収支	事業活動 収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	84,100,000	82,283,740	1,816,260
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	84,100,000	82,283,740	1,816,260
	事業活動 支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	33,057,000	32,526,997	530,003
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	33,057,000	32,526,997	530,003
	教育活動外収支差額		51,043,000	49,756,743	1,286,257
	経常収支差額		632,409,387	660,982,530	△ 28,573,143
特別収支	事業活動 収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	1,700,000	1,705,677	△ 5,677
		その他の特別収入	9,052,000	19,726,571	△ 10,674,571
		特別収入計	10,752,000	21,432,248	△ 10,680,248
	事業活動 支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	87,078,228	△ 87,078,228
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	87,078,228	△ 87,078,228
	特別収支差額		10,752,000	△ 65,645,980	76,397,980
	〔予備費〕		(2,303,613)		22,696,387
基本金組入前当年度収支差額		620,465,000	595,336,550	25,128,450	
基本金組入額合計		△ 783,600,000	△ 437,885,944	△ 345,714,056	
当年度収支差額		△ 163,135,000	157,450,606	△ 320,585,606	
前年度繰越収支差額		△ 5,572,178,030	△ 5,572,178,030	0	
翌年度繰越収支差額		△ 5,735,313,030	△ 5,414,727,424	△ 320,585,606	
(参考)					
事業活動収入計		5,380,352,000	5,376,228,511	4,123,489	
事業活動支出計		4,759,887,000	4,780,891,961	△ 21,004,961	

3. 貸借対照表と財産目録の概要

貸借対照表は、資産や負債の状況を表すもので、財産目録はその内訳を表すものです。

当年度は、建物の改修工事などによる固定資産の増加や現金預金の増加を要因として資産総額は 4.6 億円増えており、正味財産（総資産－総負債）は前年比で＋1.3 億円となりました。

貸 借 対 照 表

平成31年3月31日

(単位：円)

資産の部 (科目)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	16,524,593,921	16,513,908,431	10,685,490
有形固定資産	16,203,264,868	16,186,291,190	16,973,678
土地	6,129,303,749	6,129,303,749	0
建物	7,520,897,903	7,397,599,699	123,298,204
その他の有形固定資産	2,553,063,216	2,659,387,742	△ 106,324,526
特定資産	300,000,000	300,000,000	0
その他の固定資産	21,329,053	27,617,241	△ 6,288,188
流動資産	5,942,432,644	5,496,810,731	445,621,913
現金預金	4,266,433,855	3,724,327,256	542,106,599
その他の流動資産	1,675,998,789	1,772,483,475	△ 96,484,686
資産の部 合計	22,467,026,565	22,010,719,162	456,307,403
負債の部 (科目)	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,153,673,195	3,337,495,611	△ 183,822,416
長期借入金	2,589,920,000	2,837,500,000	△ 247,580,000
その他の固定負債	563,753,195	499,995,611	63,757,584
流動負債	1,806,906,958	1,297,435,765	509,471,193
短期借入金	247,580,000	247,580,000	0
その他の流動負債	1,559,326,958	1,049,855,765	509,471,193
負債の部 合計	4,960,580,153	4,634,931,376	325,648,777
純資産の部 (科目)	本年度末	前年度末	増減
基本金	23,385,851,760	22,947,965,816	437,885,944
第1号基本金	22,969,851,760	22,539,965,816	429,885,944
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	316,000,000	308,000,000	8,000,000
繰越収支差額	△ 5,879,405,348	△ 5,572,178,030	△ 307,227,318
翌年度繰越収支差額	△ 5,879,405,348	△ 5,572,178,030	△ 307,227,318
純資産の部 合計	17,506,446,412	17,375,787,786	130,658,626
負債及び純資産の部 合計	22,467,026,565	22,010,719,162	456,307,403

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

一．資産総額	22,467,026,565 円
内、1．基本財産	16,224,593,921 円
2．運用財産	6,242,432,644 円
二．負債総額	4,960,580,153 円
三．正味財産	17,506,446,412 円

種 別	金 額
一．資 産 総 額	
1．基 本 財 産	
(千代崎キャンパス)	
土地	86,058.73 m ² 4,121,703,749 円
建物	40,829.30 m ² 5,043,362,326 円
構築物	6,509,688 円
教具・校具・備品	2,384 点 1,011,275,005 円
図書	153,437 冊 (種) 431,353,296 円
その他	25,208,362 円
小 計	10,639,412,426 円
(白子キャンパス)	
土地	109,145.75 m ² 2,007,600,000 円
建物	37,459.05 m ² 2,477,535,577 円
構築物	159,727,931 円
教具・校具・備品	2,528 点 872,367,348 円
図書	12,995 冊 (種) 67,950,637 円
その他	2 円
小 計	5,585,181,495 円
合 計	16,224,593,921 円
2．運 用 財 産	
預金、現金	4,266,433,855 円
その他	1,975,998,789 円
合 計	6,242,432,644 円
二．負 債 総 額	
1．固 定 負 債	
長期借入金	2,589,920,000 円
その他	563,753,195 円
合 計	3,153,673,195 円
2．流 動 負 債	
短期借入金	247,580,000 円
その他	1,559,326,958 円
合 計	1,806,906,958 円
三．正 味 財 産 (資産総額－負債総額)	17,506,446,412 円

Ⅲ. 監査報告書

謄 本

監 査 報 告 書

学校法人 鈴鹿医療科学大学
理事長 高木 純一 殿

令和元年5月23日

監 事 杉 本 雅 俊

令和元年5月23日

監 事 種 橋 潤 治

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人鈴鹿医療科学大学寄附行為第7条の規定に基づき、平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）における学校法人鈴鹿医療科学大学の業務及び財産の状況について監査を行いました。監査の方法とその結果について次の通り報告いたします。

記

1. 監査の方法

理事会に出席して理事から業務の報告を聴取し、重要な書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、平成30年度の財政状態及び経営状況を、法令若しくは寄附行為に従い正しく示していることを認めます。
- (2) 学校法人の業務及び財産に関する不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないことを認めます。

以 上